

韓国環境部プレスリリース 2020年2月13日付

## 京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 186-199 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1310730&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院（院長チャン・ユンソク）は江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョングン）上西面（サンソミョン）、京畿道（キョンギド）坡州市（パジュシ）郡内面（クンネミョン）、漣川郡（ヨンチョングン）旺澄面（ワンジンミョン）および長南面（チャンナムミョン）で発見された野生いのしし死体 13 個体と江原道（カンウォンド）鉄原郡（チョルウォングン）遠南面（ウォンナムミョン）で捕獲された野生いのしし 1 個体から ASF ウイルスが検出されたと 2 月 13 日明らかにした。

□国立環境科学院は 2 月 13 日、野生いのししから ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡（ファチョングン）は 64 件、鉄原郡（チョルウォングン）は 21 件、漣川郡（ヨンチョングン）は 63 件、坡州市（パジュシ）では 51 件の野生いのしし ASF が確診よく全国的には 199 件になった。

○野生いのしし死体は ASF 標準行動指針により、試料採取後現場消毒と共に処理された。

□国立環境科学院は「今回確診なった個体は全部広域フェンスの中で発見され、この地域では感染した死体がさらに発見される可能性が高く、徹底した捜索を通じて感染死体を速かに除去する」と話した。

以上